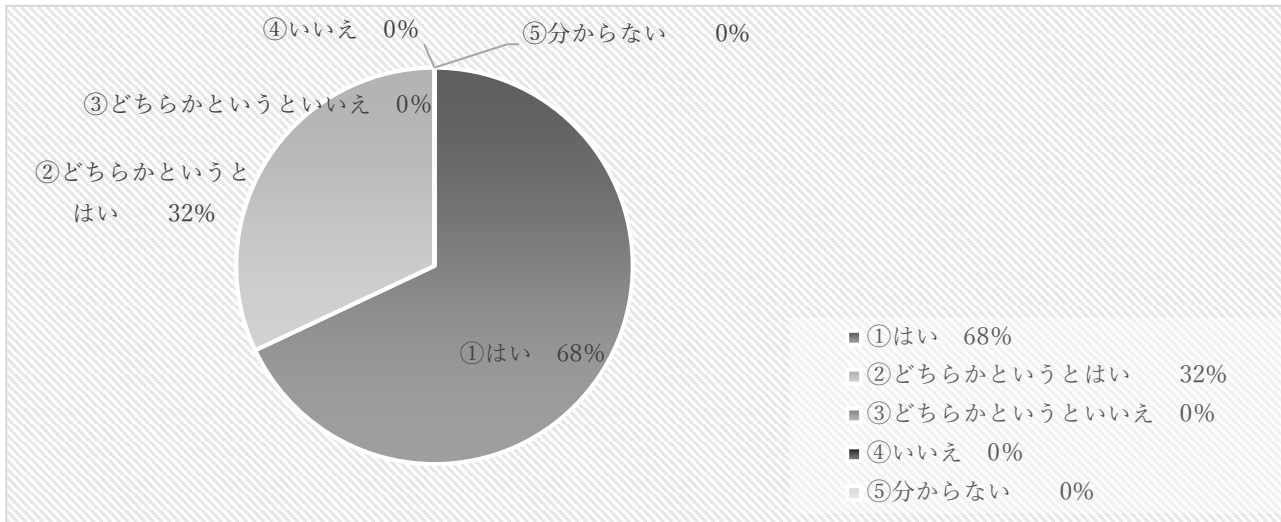


令和3年度幼保交流研修会（小学校との接続・連携）感想アンケート（抜粋）

幼児教育センター

1 就学前教育・保育施設（こども園・幼稚園）と小学校との接続について、またスタートカリキュラム・アプローチカリキュラムについて理解が深まりましたか？



【小学校関係者】

◎管理職

○教諭

◎具体的な事例が示されていた。

◎園から小学校へスムーズにつながる取組であり、保育者と教師の共通理解につながる大変よいものであると感じました。

◎これまで入学したての子どもに学習規律を第一にしていたので、根本的に考え直します。

◎園の様子について（ほめ方、保育者の声のかけ方等）、園の様々な取組を知ることが大切であること、園での体験を生かした活動は入学後の自信につながるということ等、理解が深まりました。

○今年度、スタートカリキュラムを作成しようとした時、園の様子も子ども達の姿も分からないという状態でとても困りました。この1年で交流したことや1年生としての動きを基に作成していきたいと思いました。

○学習規律から4月をスタートさせるのではなく、子ども達の学んできたことや個性を生かしたカリキュラムづくりが必要だと感じました。園の生活と子の個性を踏まえてカリキュラムを作成していきたい。

○スタートカリキュラムの存在を知ることができた。

【園関係者】

◎管理職

○保育教諭

◎園の取組を小学校につなぐ為の組織間の情報伝達の機会や書式等、今後の保・幼・小の連携の中で重要ではないかと考えます。

◎園と小学校の互いの顔が見える関係を作りながら、カリキュラムを作成していこうと思いました。

◎園からスムーズに小学校生活に移行できるように、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムが大事であると感じました。スタートカリキュラム、西脇市でも具体的になっていくといいなと思います。

○たつの市の接続シートのようなものがあると、子ども達や園の様子を小学校に伝えやすいと思いました。

○小学校に行ってから全てを初めて体験するのではなく、園での活動経験の中で自分の思いを伝える話し合いや子どもの良いところを伸ばしていく等、スムーズに小学校の生活や活動に取り組めるようにしていくことが大事だと感じました。

○園生活の間に育てておきたい姿が詳しく分かり、園でできているところや、もう少し工夫できそうなところがイメージできたので接続に生かしていきたいと思いました。

○幼児期と小学校の接続の大切さを感じました。みんなで考える、グループで考える等、年齢ごとの活動の段階をふむことも大切だと分かりました。

2 本日の鈴木先生の講義を受けて気付いたこと、学んだこと、今後に生かしていきたいこと等を記入してください。

【小学校関係者】

◎管理職

○教諭

- ◎スタートカリキュラムは、何か基になるものがあるという考えがありました。是非、園と小学校の交流から子どもの実態にあったカリキュラムの作成に挑戦してみようと思います。
- ◎小学校就学前までに、育てほしい姿の具体的な目標があり、どんな力が身についているか、知っておくことが大切だと思いました。小学校で探求的な学習や体験活動の中で、子ども同士や多くの人と協働しながら学んでいくことにつながっていくと感じました。
- ◎0～12歳という長期の視点を持ち、どの年齢でも主体的にやる気を出して、好奇心、探求心がくすぐられるような教育をしていかなければいけないと思いました。幼児期から低学年の重要さがわかりました。幼児期の種が高学年で芽生えるのが楽しみです。しばざくら幼稚園のすばらしい実践や、のびのびできる環境づくりにも感動しました。
- ◎今年度1年生の担任ですが、たくさんの園から集まってきた子ども達とのかわりは毎日悩むことがありました。今日の話聞いて、もっと園での様子を知っておけば、スムーズに接続できると思いました。今年度、年長児と交流したり、園の様子を見に行ったりしたことを生かして来年度につなげていきたい。
- ◎幼児教育にも小学校教育にも共通する大切な支援・活動をたくさん知ることができました。「素材に触れる」「自己調整」「責任感が人を強くする」「失敗体験」等、機会を捉え、また意識をしながら子ども達とかかわっていきたくと思いました。
- ◎見学には行けませんでした。が、(事例から)幼稚園での活動の様子や先生方のかかわり方を詳しく知る事ができました。園で、子ども達は多くのことを経験し学んでいるので、その学びをつなげていくことが自分たちの役割だと改めて感じました。また、たつの市のような質問シートがあれば4月はじめのカリキュラムをより生きたものにできると感じました。

【園関係者】

◎管理職

○保育教諭

- ◎接続、連携のスタートを切れたように思います。園と学校の相互理解が更に深まること期待します。
- ◎「今の時代に必要な力」をどのように工夫し育てていけば良いか。子ども達が他者との違いに気付き、その違いを尊重しながら共に活動できる力の育成がそれぞれの園の取組によって「差」となって表れるのは普段から感じている点である。本園としての特色を生かして取り組んでいきたいが、その一方で市としてはある程度揃える事も必要ではないかと考える。
- ◎園と小学校の交流、接続が大事であり10の姿を見据えながら園で遊びを深めていきたい。
- ◎園から小学校へ実践をつなげることが大事だということ改めて感じ、学びました。今の時期、交流をもつことは難しくなっていますが、何らかの形で工夫していかなければいけないと思いました。
- ◎5歳児としてどんなことを重点的に保育すれば良いか道筋が見えたように思います。
- ◎5歳児の話し合いでは、自己調整が必要になってくることがわかりました。4歳児はクラス全体で課題を共有して何かを作りあげる、5歳児はグループごとに課題にむかって取り組む等、取り入れていきたい。
- ◎子ども達が主体となって、考えていく、失敗しても更につなげていく大切さを学びました。
- ◎年齢ごとに学ぶべきこと、感じておくべきことをしっかり経験することの大切さを改めて感じました。
- ◎読み取って表現する力、自分の考えを他者に伝えるように根拠を示して説明する力等、5歳児の遊びの中に必要だと思いました。グループ活動では、少人数での活動をもっと取り入れていこうと思いました。
- ◎鈴木先生の事例より、子どもが責任感を感じることでできる場を提供することで、たくさんの力が身につくことを知りました。時には子どもの思いが感じられるような手紙を出す、自分達で公共の施設に電話する等、5歳児担任としてできることはどんどん経験させてあげたいです。
- ◎5歳児クラスの担任をしているので、グループでの話し合いを大切に、個々に発言がしっかりできるようにしたり、責任感の発揮できる場を作ったりしていきたいと思いました。
- ◎幼児教育と小学校教育の接続の大切さを改めて感じました。ドキュメンテーションでは、先生の記録、子ども達の活動、保護者に向けてと3つの活用法があることを学び、少しずつ取り入れていきたいと思いました。幼児期に遊び込み失敗も学びに変えていけるよう、保育者としてのかかわりも日々勉強だと感じました。